



▲出席者 上段左から早坂とし子さん、齋藤匡さん、黒沼咲空さん、東海林あやさん。
下段左から柏倉悠吾さん、栗田喜生さん、栗田蒼生さん。

4月6日(水)に愛称決定副賞贈呈式を開催
虹のプラザ「多目的ホール」愛称決定副賞贈呈式が4月6日(水)に行われ、「なないろホール」を応募いただいた7名の方が出席しました。
贈呈式では、村岡町長から副賞の「令和4年度町教育委員会自主企画事業で使用できる無料招待券」が贈られました。



虹のプラザ「多目的ホール」 愛称は 『なないろホール』

124件の応募の中から厳選!

採択された7名の方が 愛称に込めた意味とは？

早坂とし子さん (岩ヶ袋)

大石田町は虹の似合う町で、虹の名前が付く施設が多くあります。虹の色は7色で、ホールを利用する方や、見に来る方が楽しさや豊かさ、笑い、涙、怒ったり勉強になったり、幸せになったりといういろんなことを身に着けそれらを合わせて、なないろ、虹色にしてみました。

齋藤匡さん (豊田)

虹のプラザの「虹(なないろ)」と、演劇やコンサート、交流コミュニティなどの様々な活動(なないろ)、様々な年齢の方(なないろ)の活躍の場という意味を込めました。

柏倉悠吾さん (緑町)

虹のプラザにちなんで虹の七色をイメージして付けました。幅広い年代の方が誰でも読める平仮名にしました。

黒沼咲空さん (海谷)

虹のプラザの虹にちなんで「なないろ」にしました。一人一人の色でこのホールを彩って楽しい雰囲気にしてほしいという願いを込めました。

124件の応募の中から厳選 愛称は 『なないろホール』

町では、虹のプラザの「多目的ホール」がこれまで以上に親しみやすく利用してもらえる施設になるように愛称を募集していました。愛称審査委員会による厳正な審査の結果、応募いただいた124件の中から「なないろホール」が愛称に選ばれました。

愛称審査委員会では、①町や施設のイメージに合い親しみやすさがあること、②「虹のプラザ○○ホール」など施設名とつなげた際に呼びやすい(見やすい)ことなどを基に審査を行いました。

同様の呼び方でカタカナや漢字の表記もありましたが、誰が見てもすぐわかる施設となるように、ひらがなで表した「なないろ」という名称

が採択されました。

なお、同じ愛称を応募いただいた7名の方には、副賞が贈呈されました。(贈呈式の様子はP7上部に掲載)

これからも、多目的ホール改め「なないろホール」をご愛顧くださいますようしく
お願いします。



東海林あやさん (愛宕町)

虹のプラザの虹にちなんで「なないろ」という名前を付けました。

栗田蒼生さん (仲通)

虹の七色。七色(なないろ)の個性を持つたくさんの人が交流できるホールになってほしいという願いを込めました。「なないろ」が平仮名なのは、一人一人の優しさを表しているからです。

栗田喜生さん (仲通)

虹をイメージして付けました。